



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.5

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 横浜冷凍株式会社 子安物流センター 新築工事 冷蔵倉庫棟	階数	地上3F
建設地	神奈川県横浜市神奈川区守屋町1丁目1番7、1番17	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	20 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,520 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2019年4月9日
敷地面積	3,586 m ²	作成者	筒井 英雄
建築面積	2,629 m ²	確認日	2019年4月9日
延床面積	4,906 m ²	確認者	筒井 英雄



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.4 ★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 1.9 **LR のスコア = 2.5**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア= 0.0	Q2のスコア= 3.1	Q3のスコア= 1.1
音環境: N.A. 温熱環境: N.A. 光・視環境: N.A. 空気質環境: N.A.	機能性: N.A. 耐用性・信頼性: 2.8 対応性・更新性: 3.3	生物環境: 1.0 まちなみ・景観: 1.0 地域性・アメニティ: 1.5

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 2.3	LR2のスコア= 2.6	LR3のスコア= 2.7
建物外皮の熱負荷: N.A. 自然エネルギー: 3.0 設備システム効率化: 2.0 効率的運用: 3.0	水資源保護: 2.2 非再生材料の使用削減: 2.7 汚染物質回避: 2.7	地球温暖化への配慮: 3.0 地域環境への配慮: 2.4 周辺環境への配慮: 2.7

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
環境に配慮した建材等を使用している。	特になし	
Q1 室内環境 対象外	Q2 サービス性能 階高にゆとりがあり、利用者にとって広く感じる空間になるよう努めている。	Q3 室外環境 (敷地内) 建物がまちなみや風景にバランスよく調和されている。
LR1 エネルギー 省エネ計算対象外のため、BPI、BEIの数値はなし。	LR2 資源・マテリアル LGS下地を使用している。	LR3 敷地外環境 駐輪、駐車スペースを確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

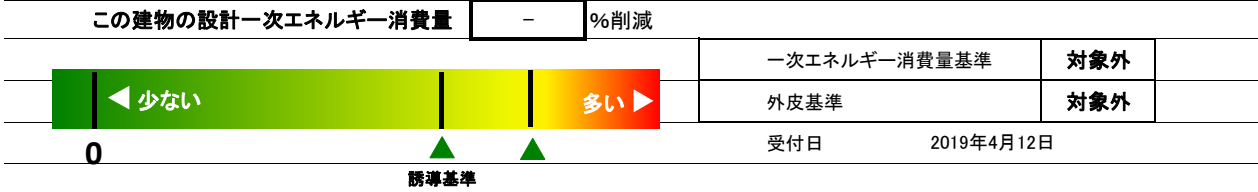


4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)横浜冷凍株式会社 子安物流センター 新築工事 冷蔵倉庫棟

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 1

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 1

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 1

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入 環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

— —



CASBEE横浜2017年版v.1.5

(仮称) 横浜冷凍株式会社 子安物流センター 新築工事 冷蔵倉庫棟

バージョン

CASBEE横浜2017年版v.1.5

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
				Q 建築物の環境品質						
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 騒音										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温 快適・働きやすさ ⑨温熱環境										
2 外皮性能 快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能										
3 ソーン別制御性 快適・働きやすさ ⑨温熱環境										
2.2 湿度制御 快適・働きやすさ ⑨温熱環境										
2.3 空調方式 快適・働きやすさ ⑨温熱環境										
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1 昼光率 快適・働きやすさ ⑩光環境										
2 方位別開口 快適・働きやすさ ⑩光環境										
3 昼光利用設備 快適・働きやすさ ⑩光環境										
3.2 グレア対策										
1 昼光制御 快適・働きやすさ ⑩光環境										
3.3 照度 快適・働きやすさ ⑩光環境										
3.4 照明制御 快適・働きやすさ ⑩光環境										
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質 快適・働きやすさ ⑪空気質環境										
4.2 換気										
1 換気量 快適・働きやすさ ⑪空気質環境										
2 自然換気性能 快適・働きやすさ ⑪空気質環境										
3 取り入れ外気への配慮 快適・働きやすさ ⑪空気質環境										
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視 快適・働きやすさ ⑪空気質環境										
2 喫煙の制御 快適・働きやすさ ⑪空気質環境										
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性 快適・働きやすさ ⑫機能性										
2 高度情報通信設備対応 快適・働きやすさ ⑫機能性										
3 バリアフリー計画 快適・働きやすさ ⑫機能性										
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観 快適・働きやすさ ⑫機能性										
2 リフレッシュスペース 快適・働きやすさ ⑫機能性										
3 内装計画 快適・働きやすさ ⑫機能性										
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計 快適・働きやすさ ⑫機能性										
2 維持管理用機能の確保 快適・働きやすさ ⑫機能性										
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震										
1 耐震性 防災 ⑮耐震・免震 3.0 0.50										
2 免震・制振性能 防災 ⑮耐震・免震 3.0 0.20										
2.2 部品・部材の耐用年数										
1 躯体材料の耐用年数 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上 3.0 0.20										
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上 3.0 0.10										
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上 3.0 0.10										
4 空調換気ダクトの更新必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上 3.0 0.20										
5 空調・給排水配管の更新必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上 3.0 0.20										
6 主要設備機器の更新必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上 3.0 0.20										
2.4 信頼性										
1 空調・換気設備 防災 ⑰信頼性 3.0 0.20										
2 給排水・衛生設備 防災 ⑰信頼性 1.0 0.20										
3 電気設備 防災 ⑰信頼性 3.0 0.20										
4 機械・配管支持方法 防災 ⑰信頼性 3.0 0.20										
5 通信・情報設備 防災 ⑰信頼性 1.0 0.20										
3 対応性・更新性										
3.1 空間のゆとり										
1 階高のゆとり 4.2 0.30										
2 空間の形状・自由さ 5.0 0.60										
3.2 荷重のゆとり 3.0 0.40										
3.3 設備の更新性 3.0 0.30										
1 空調配管の更新性 3.0 0.20										
2 給排水管の更新性 3.0 0.20										
3 電気配線の更新性 3.0 0.10										
4 通信配線の更新性 3.0 0.10										
5 設備機器の更新性 3.0 0.20										
6 バックアップスペースの確保 3.0 0.20										

CASBEE 横浜 | 評価結果 | 31-004



CASBEE横浜2017年版v.1.5

(仮称) 横浜冷凍株式会社 子安物流センター 新築工事 冷蔵倉庫棟

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.5

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮				1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上		1.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	2.5
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	2.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		2.0	0.63	-	-	2.0
4 効率的運用				3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.60	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.11	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.22	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.22	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.7	0.20	-	-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				2.6	0.70	-	-	-
1 消火剤				2.0	0.33	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.33	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	0.33	-	-	-
2 振動				3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭				3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				1.6	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				1.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目					-	-	-	-
<事務用途>					-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-
<住宅用途>					-	-	-	-
健康と安心					-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		-	-	-	-	-